

第3期安中小学校区わがまち推進計画【2023～2028】

1. はじめに

地域の課題を解決するためには、地域で生活している私たち自身が力を集結して、住んでいるまちについて考え、場合によっては行政と一緒に取り組むことが大切です。安中小学校区まちづくり協議会（以下、「協議会」という。）は、平成22（2010）年12月18日に設立準備会として産声をあげ、平成24（2012）年9月15日に設立総会を開催し、協議会へと移行しました。また、平成25（2013）年3月には、第1期安中小学校区わがまち推進計画【2013～2015】（以下、「第1期計画」という。）を、平成28（2016）年1月には、第2期安中小学校区わがまち推進計画【2016～2020】（以下、「第2期計画」という。）を策定し、「まちの将来像」、「5つのまちづくりの目標」及び「11のまちづくりの戦略」を定め、皆でさまざまな情報を共有しながら、地域活動を進めてまいりました。一方、令和2年（2020）年2月からの新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、地域活動の実施にも大きく影響することとなり、さまざまな事業が中止または縮小を余儀なくされ、さらに、第2期計画も、令和4（2022）年度まで期間を延伸しました。そのような状況下、協議会の構成団体等によるワークショップやホームページを通じて意見集約を行い、これまでの活動をふり返るなど協議を重ね、第3期安中小学校区わがまち推進計画（案）を作成し公表しました。その後、令和5（2023）年2月の臨時総会（書面表決）において、原案どおり承認され、第3期安中小学校区わがまち推進計画【2023～2028】（以下、「第3期計画」という。）が策定されました。第3期計画では、第1期計画及び第2期計画の「まちの将来像」、「5つのまちづくりの目標」及び「11のまちづくりの戦略」を継続させており、活動方針として「持続可能な活動の推進」を掲げています。今後も、まちの将来像「安全で安心して暮らせる、美しく楽しいまち」をめざし、皆でさまざまな情報を共有しながら、地域活動に取り組んでまいります。

2. 安中小学校区の概要

①範囲と面積

安中小学校区は、陽光園一丁目及び陽光園二丁目、明美町一丁目及び明美町二丁目、安中町一丁目から安中町六丁目並びに渋川町三丁目から渋川町七丁目の範囲で構成され、面積は、0.842km²となっています。

②人口（各年3月31日現在）

八尾市の統計によると、校区内の人口等は、下表のとおりとなっています。なお、75歳以上は、65歳以上の内数となっています。

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04
人口	10,667	10,637	10,499	10,430	10,461	10,453	10,556	10,504	10,647	10,649	10,574	10,538
14歳以下	1,491	1,467	1,416	1,358	1,318	1,279	1,287	1,267	1,267	1,252	1,237	1,221
15～64歳	6,935	6,819	6,637	6,502	6,493	6,425	6,464	6,404	6,485	6,463	6,416	6,378
65歳以上	2,241	2,35	2,446	2,570	2,650	2,749	2,805	2,833	2,895	2,934	2,921	2,939
75歳以上	919	986	1,016	1,075	1,128	1,207	1,271	1,309	1,411	1,442	1,464	1,519
世帯数	4,788	4,826	4,747	4,761	4,826	4,855	4,935	4,940	5,030	5,089	5,090	5,135

令和4（2022）年にあつては、14歳以下の構成比が11.59%、15～64歳が60.52%、65歳以上が27.89%となっています。また、平成23（2011）年の数値と比較すると、14歳以下で18.11%の減少、15～64歳で8.03%の減少、65歳以上で31.11%の増加（75歳以上で65.29%の増加）となっており、少子高齢化が進んでいることが窺えます。

③施設

校区内には、安中小学校、八尾警察署八尾駅前交番、私立幼保連携型認定こども園（2園）、安中小学校区集会所（八尾駅前交番の東隣）のほか、複数の地域の集会所などが存在しています。

④交通

鉄道では、JR大和路線（関西本線）が校区の南辺を通過しており、八尾駅の北口がまちの玄関口となっています。また、校区の西方にあつては、久宝寺駅が最寄りとなっています。主要な道路では、大阪府道2号大阪中央環状線及び大阪府道178号八尾停車場線などが通っており、JR八尾駅前からは、近鉄大阪線の近鉄八尾駅、JR大和路線及びJRおおさか東線の久宝寺駅、Osaka Metro 谷町線の八尾南駅並びに近鉄南大阪線の藤井寺駅へ向かう近鉄バスが運行されています。

⑤公園・河川

校区内には、渋川公園、渋川町三丁目公園、渋川町七丁目公園、渋川町七丁目第2公園、安中町二丁目公園、安中町三丁目公園、安中町三丁目第2公園、安中町三丁目児童遊園、安中町四丁目公園、安中町五丁目公園、安中町五丁目第2公園、明美公園及び明美第2公園など、大小さまざまな公園等が存在し、憩いの場を提供しています。また、校区の南東部から北部にかけて、長瀬川が流れ、校区の東部には、成法せせらぎの小径が南北に整備されているなど、潤いを与えています。

3. 「まちの将来像」「まちづくりの目標」「まちづくりの戦略」「活動方針」等

◎まちの将来像：安全で安心して暮らせる、美しく楽しいまち

まちの将来像の実現に向け、5つのまちづくりの目標を掲げ、安中小学校区まちづくり協議会が中心となって、11のまちづくりの戦略に沿って、取り組みを進めます。

○まちづくりの目標①：地域ぐるみで見守り育てるまち

子どもやその家族が安心して暮らせるよう、地域ぐるみで子どもたちの安全を見守ることで、健全に成長できるまちをめざします。

●まちづくりの戦略①：子どもの居場所づくりを進めます。

●まちづくりの戦略②：子どもたちの健全育成とスポーツ、文化活動を推進します。

⇒「見守り育てるまちづくり事業」

○まちづくりの目標②：高齢者や障がいのある人を支える住みよい活気のあるまち

高齢者や障がいのある方々を地域全体で支えることで、高齢者や障がいのある方々にとって住みよいまちになります。またこのことは、全ての地域住民にとっても住みよいまちになることに通じます。皆が住みよい活気あるまちをめざします。

●まちづくりの戦略①：高齢者や障がいのある人の生きがいつくり、健康づくりを進めます。

●まちづくりの戦略②：地域で高齢者や障がいのある人を支える仕組みづくりを進めます。

⇒「住みよい活気のあるまちづくり事業」

○まちづくりの目標③：みんなでつくる安全・安心のまち

大きな災害が発生しても、すぐに行政は対応することができず、過去の大災害においても、多くの方々は、ご近所の方々の共助により救出されました。地域の安全は、行政に任せきりではなく、全ての地域住民が、安全・安心に対しての意識を持ち、取り組むことで守られます。

●まちづくりの戦略①：安全意識を高め、交通事故のないまちづくりをめざします。

●まちづくりの戦略②：関係機関との連携による防犯活動の強化を図ります。

●まちづくりの戦略③：災害に強いまちづくりを推進します。

⇒「安全・安心のまちづくり事業」

○まちづくりの目標④：お互いに笑顔でふれあうまち

毎日顔を合わせる地域住民のコミュニケーションから、地域のまちづくりは始まります。あいさつをかわし、まちをきれいにすることで、皆の笑顔があふれるまち、快適に生活できるまちをめざします。

●まちづくりの戦略①：美しい景観を守るまちづくりをします。

●まちづくりの戦略②：地域のコミュニティ活動の活性化を図ります。

⇒「笑顔でふれあうまちづくり事業」

○まちづくりの目標⑤：「きずな」で広げる地域の輪

まちづくりの目標①から④に基づき、さまざまな地域活動を展開することで、安中小学校区が一つとなり、より力を合わせてまちづくりを進めていくことができます。地域の歴史を重んじ、過去から現在、そして未来へとバトンをつなぐため、地域の輪を広げていきます。なお、まちづくりの目標⑤は、まちづくりの目標①から④をつなぐ、共通の目標でもあります。

●まちづくりの戦略①：地域が一つになる活動を実施していきます。

●まちづくりの戦略②：地域の歴史や文化遺産を伝えていきます。

⇒「「きずな」事業」

■活動方針：持続可能な活動の推進

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響で、第2期計画の期間を延伸しました。また、さまざまな地域活動が中止または縮小を余儀なくされました。そのような状況下、第3期計画の策定の過程でこれまでの活動のふり返しを行うなか、「担い手の確保」「SNSなどデジタルツールの活用」「有効な事業の絞り込み」などさまざまなご意見をいただきました。これらを踏まえ、人材や予算等も考慮して柔軟に対応できるよう、活動方針を「持続可能な活動の推進」としました。

